

## 活動報告

団体名	多良木キッズサークル
活動名	被災地の子どもと保護者のための子ども支援
活動期間	2020/07/05～2021/06/30
活動の成果	<p>7月の水害後からほぼ休みなく走ってきました。状況は日を追うごとに落ち着いてきたが、現状、生活が安定してきた若い共働き世帯と、不安だらけの一人親世帯・高齢世帯に2極化している。子育て世帯に関しては日常を取り戻しつつあり、子ども達も発災当初に比べ喧嘩や突然叫び出すなどの行為はみられなくなった。中高生や大学生がASOBIBAの活動にボランティアで入ってくれるようになり、子ども達も「お兄さん」「お姉さん」と遊ぶのを楽しみにしている。一緒に元気に走り回り、勉強を尋ね、、という姿を見て、保護者も安堵していた。</p> <p>ASOBIBAをスタートした当初は公園なども泥で浸かったままでガラスなどもあって危険だったが、現在は撤去され安全な状態に戻っている。しかし水害をきっかけに家庭環境が悪化し児相に繋げたケースもあり、まだまだ寄り添ってケア・支援し続けることも大切だと感じる。また、子どもを預かるための場としてだけでなく、保護者の話を聞いたり必要な人に食料品や日用品などの物資を届ける場としても活用している。食料品等が必要な人を募ったところ142件の登録があり、家族を含めると400人超の人が今も日用品や食料品を必要としている。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>ありがとうございます。皆様からのあたたかいお気持ちで私達は走り続けることができました。発災から1年が経過した今でも、まだ泥に埋まった家屋が存在し、一步裏通りに入ると解体待ちの家々や解体されてがらんとした空間が広がっています。大雨がくると脅える子ども達の姿に私たちに何ができるのかを考えさせられる日々を過ごしています。私たちにできること。子ども達や保護者が安心できる関係、環境を作っていくこと。水害にコロナ禍に、経済的に負担を強いられている家計を少しでも軽減するお手伝いをする事。そして何よりも子ども達の笑顔を守る事。私たちにできることはほんの僅かなことかもしれませんが、それでもたくさんの笑顔に囲まれて過ごせる日々は、寄付者の皆様のお力添えあってこそです。皆様の暖かいお気持ちで、被災地の子ども達が笑顔になる場を運営し続けることができたこと、本当に嬉しく思います。これからも先の長い被災地支援、子ども保護者支援になるかとは思いますが、これからも暖かい眼差しで見守っていただけると幸いです。本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

